令和７年度 第１回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和７年度 第１回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

【調査対象】　令和７年度市政モニター44 人（公募７人・団体推薦 37 人）
＜モニターの要件＞
・市内に住所を有する 18 歳以上の人
・公務員や地方公共団体の議員などでない人
・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人

【実施期間】　令和７年６月 17 日（火）～６月 30 日（月）

【実施方法】　アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）

【実施内容】　１．市の生涯学習について（問１～問７）
２．市の景観について（問８～問 16）

【回答状況】　アンケート調査回答者：42 人（20 歳代～80 歳代）
回答率：95.5％

参考

＜アンケート回答者の情報＞

（１）居住地　渋川地区（23 人）、伊香保地区（５人）、小野上地区（１人）、子持地区（３人）、赤城地区（７人）、北橘地区（３人）

（２）年　齢　20 歳代（３人）、30 歳代（10 人）、40 歳代（８人）、50 歳代（７人）、60 歳代（６人）、70 歳代（７人）80 歳代（１人）

渋川市

（広報室）

令和７年度　第１回
渋川市市政モニターアンケート

１．市の生涯学習について

市は、文化の祭典「渋川市民総合文化祭」を毎年９月～12 月にかけて開催しています。市民総合文化祭では、渋川市文化協会の加盟団体を中心に、市内で活動する様々な文化団体が日ごろの活動の成果を発表します。

本アンケートは、市民総合文化祭やコミュニティ・スクールをはじめとする地域の教育・文化活動を通じて、子どもたちの学びや成長、地域とのつながりをより深めていくための基礎資料とすることを目的に実施します。

今後の施策の充実に向けて、率直なご意見をお寄せください。

問１　これまでに、渋川市民総合文化祭を見学もしくは出展・出演したことはありますか。

①ある（どの会場で　　何を　　）（11 人・26.2％）

＜①簡易抜粋＞

・市民会館、子持社会体育館で見学した
・子持社会体育館、市民会館で、華道・絵画
・数か所の公民館で生け花
・子持社会体育館で俳句作品と書道作品の出品
・金島ふれあいセンターで、唄の発表

②ない（31 人・73.8％）

年齢別回答状況　　単位：人

()は人数	①	②	未回答	合計
20歳代(3)	1	2		3
30歳代(10)		10		10
40歳代(8)	2	6		8
50歳代(7)	1	6		7
60歳代(6)	3	3		6
70歳代(7)	3	4		7
80歳代(1)	1			1
合計(42)	11	31	0	42

※どの年代でも「②ない」の回答が多い。今後も積極的な見学もしくは出展・出演の周知が必要と言える

問２　市民総合文化祭について、見学者を増やすにはどうしたらよいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

①小中学校に周知し児童生徒に見学へ行くよう促す（17 人・41.5%）
②SNS を活用して幅広い層に周知する（33 人・80.5%）
③会場の市民会館や社会体育館は地元から遠いので各団体の地元公民館での発表に切り替える（５人・12.2%）
④その他（４人・9.8%）
※未回答（１人）

＜その他意見＞

・体験など、気軽にできることがあれば、少しでも興味がある人は足を運ぶと思う
・免許返納した人に無料送迎バスを運行する
・小中学生に見せたい文化価値の物は学校に足を運んで教える・見せる・方法を考える方が良い
・開催日中、又は前に新聞に出す。終ってからの記事では見学者は増やせない。ＳＮＳで若い人を呼ぶのも興味有る創作品が有れば良と思う
・市内の吹奏楽部や合唱部、演劇、伝統芸などの発表も一緒に行い、家族の参加を促す
・高齢者向けの交流スペースに掲示する

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)	2	2				4
30歳代(10)	4	9		1		14
40歳代(8)	4	5	1	1		11
50歳代(7)	3	7	1	1		12
60歳代(6)	1	6	1			8
70歳代(7)	3	4	2		1	10
80歳代(1)				1		1
合計(42)	17	33	5	4	1	

※回答の多くは「②SNS を活用して幅広い層に周知する」で、特に 30～60 代で支持が高かった。「①小中学校に周知し児童生徒に見学へ行くよう促す」も、幅広い年代から支持があり、「③会場の市民会館や社会体育館は地元から遠いので各団体の地元公民館での発表に切り替える」は、少数意見だった。全体的に、SNS による広報と、学校を通じた直接的な周知の、使い分けまたは併用が来場者の増加につながると考える人が多い

問３　市民総合文化祭であなたが見てみたい展示や発表はどんなことですか。当てはまるものを全て選んでください。

①既存の文化祭の枠にとらわれない新しい文化の展示物や発表（15 人・36.6%）

＜①簡易抜粋＞

・地域の子どもの作品の展示
・渋川市を題材にしたサブカルチャーの企画展示
・渋川市の企業や市民団体などで今まで市内に無かった産業、名物、開発品
・演劇や、かくし芸大会など
・化学、物理に関する児童、生徒の研究物の展示発表
・外国文化芸術に触れるものを県内在住の外国人に紹介してもらう
・地元地域の企業の技術や製品の展示、企業風土の紹介
・渋川駅由来の鉄道マニア展などおもしろいと思う

②地域に根ざした伝統文化の展示物や発表（13 人・31.7%）

＜②簡易抜粋＞

・群馬県及び群馬の歴史について。城跡や古墳も多く、面白い歴史も多々ある
・渋川市内に伝わる伝統芸能の実演や考古学等の歴史的資産の計画的展示等
・手工芸品の昔今
・渋川山車祭りは隔年なので､子ども達が太鼓を忘れてしまう。毎年､発表する機会があると忘れずに済むのではないか？また各町のたたき方の特色もあるので､紹介するのも興味がある

③見学者が体験・参加ができる展示や発表（19 人・46.3%）

＜③簡易抜粋＞

・伊香保温泉芸子さんによるお座敷遊び等
・ボランティア体験等（こども食堂？車椅子体験？高齢者体験等）
・若年層が体験・参加できるような、今流行のものを取り入れてみる
・会場で参加できる事ならば、展示している部会にお願い出来れば良いと思う
・赤城町の廻り舞台の体験
・参加者全員で歌うコーナー（誰でも歌える歌）
・デジタルアートなどの体験が出来ると楽しい

④その他（２人・4.9%）
※未回答（１人）

＜その他意見＞

・伊香保温泉の効能体験（足湯など）
・今のままでいいと思う。友人の作品をみることは興味深いので

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)	1	1	1			3
30歳代(10)	3	2	5	1		11
40歳代(8)	3	1	4			8
50歳代(7)	4	4	3			11
60歳代(6)	1	2	2	1		6
70歳代(7)	2	2	4		1	9
80歳代(1)	1	1				2
合計(42)	15	13	19	2	1	

※最多は「③見学者が体験・参加ができる展示や発表」で、特に 30・40・70 代で多く挙がった。「①既存の文化祭の枠にとらわれない新しい文化の展示物や発表」と「②地域に根ざした伝統文化の展示物や発表」は、ほぼ同程度だった。多様なニーズが見られる中、自由記述で示される具体案や新提案を重視した企画づくりが有効と言える

問４　あなたが文化祭で展示、発表するとしたらどのようなものが可能ですか。

①具体的に（７人・16.7%）

＜①簡易抜粋＞

・渋川市に限るなら「バブル期から令和まで、伊香保温泉の衰退と復活の歴史」。群馬全体で見せるなら「山に生き、山に消えた町:知られざる近代化の柱、群馬の営林集落の歴史」みたいな感じでしょうか
・学生が普段出来ない発表
・地元の文化となっている職業の紹介
・自分達が活動しているものを見せたい
・無形文化財など披露する。無料食べ物の配布

②展示、発表したいものは無い（35 人・83.3%）

※「②展示、発表したいものは無い」が 35 人と大多数を占めた。①の具体案がある人は 7 人で、全体として、参加意欲よりも見学志向が強い可能性がある。発表者募集には動機づけや支援策が必要と言える

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	未回答	合計
20歳代(3)		3		3
30歳代(10)	2	8		10
40歳代(8)	1	7		8
50歳代(7)	1	6		7
60歳代(6)	1	5		6
70歳代(7)	2	5		7
80歳代(1)		1		1
合計(42)	7	35	0	42

問５　市は、地域住民と学校が協働し、子どもたちの学びや成長を一緒に支えていく「コミュニティ・スクール」を、市内の 18 校区の小中学校で導入しています。この取り組みについて知っていますか。

①内容について知っている（８人・19%）
②聞いたことはあるが、内容は分からない（11 人・26.2%）
③知らない（23 人・54.8%）

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	未回答	合計
20歳代(3)			3		3
30歳代(10)	1	3	6		10
40歳代(8)	1	2	5		8
50歳代(7)	3	1	3		7
60歳代(6)	1	2	3		6
70歳代(7)	1	3	3		7
80歳代(1)	1				1
合計(42)	8	11	23	0	42

※「③知らない」が 23 人で全体の半数以上を占め、全年代で最多だった。「①内容について知っている」は 8 人、「②聞いたことはあるが、内容はわからない」は 11 人で、認知度は合わせても 45%程度である。取り組みの周知について、広報や説明の機会を増やす必要があると言える

問６　子どもたちの学びや成長のため、あなたが地域住民として協力できること、もしくは関われることはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

①学校の授業におけるゲスト講師や、授業の見守りなど（12 人・28.6%）
②クラブ活動、部活動などの学校活動の補助支援（13 人・31%）
③登下校の見守り（18 人・42.9%）
④学校美化活動などの学校運営業務の補助・支援（12 人・28.6%）
⑤学校外（公民館等）での、子ども向けイベントや講座の実施等（７人・16.7%）
⑥その他（３人・7.1%）

＜その他意見＞

・登下校見守り 17 年間、菊花栽培 18 年間講師、通学路美化 20 年継続中。中学生に地元歴史講師を、これまで実施して参りました。昨年より小１年生に昔遊びを教えています
・老人クラブと中学校で、年１回道路清掃を行っており、毎年参加してます
・小学校に何回か書道を教えに行っています
・読み聞かせ

年齢別回答状況　　単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	未回答	合計
20歳代(3)	1		3					4
30歳代(10)	3	5	4	1	1			14
40歳代(8)	2	4	3	1	2	1		13
50歳代(7)	2	2	2	4	1	1		12
60歳代(6)	2	2		2	3			9
70歳代(7)	1		5	3		1		10
80歳代(1)	1		1	1				3
合計(42)	12	13	18	12	7	3	0	

※最多は「③登下校の見守り」で、特に 70 代で多かった。次いで「②クラブ活動、部活動などの学校活動の補助支援」と「①学校の授業におけるゲスト講師や、授業の見守りなど」、「④学校美化活動などの学校運営業務の補助・支援」が同程度で、幅広い年代に分散した。「⑤学校外（公民館等）での、子ども向けイベントや講座の実施等」は少数で、直接的で日常的な関わりが支持されやすい傾向がみられる。総じて、参加意欲は「日常的・短時間で関われる活動」や「自身の経験を生かせる活動」に集まりやすく、特に高齢層は安全見守り、現役世代は授業・部活支援や学校運営補助への関心が高いことがわかる。今後の協力者募集を行う場合は、年代別の特性に応じた役割提案と、参加のハードルを下げる工夫が効果的と言える

問７　中学生・高校生と地域住民の交流をさかんにする取り組みについてアイデアがありましたら、自由に記入してください。

＜例＞

・放課後や休日に公民館等で中高生向けの講座を実施し､地域人材が講師となる
・地域の行事に中高生が参加するよう、家族等が積極的に働きかける
・地域の行事に中高生が参加するよう、学校から案内してもらう
・地域人材が学校のクラブ活動や部活動の応援・補助をする

＜簡易抜粋＞

・放課後や休日に無料もしくは習い事より安く、中高生向けの講座を実施し、地域人材が講師となる
・高校生が教える側として、企業の広報やマーケティング部門に SNS の文化やトレンド、IT リテラシーを高めるために必要なことを教える
・高校生は就職や進学についての講習会とか興味あるかもしれないですね。どの職業がどういうスキームでお金を生み出し、それを労働者が受け取っているかみたいな、どうすればお金を稼げるのかという講習。税金や社会保障と絡めて地域産業の重要性がわかることで、地元での就職や地域産業従事者との交流が図れそうです
・職場見学、就業体験（大工、職人やデザイナーなど法人だけではなく個人事業等も含める）
・地域の祭りなどイベントボランティア（企画・運営なども）
・地域美化運動（地域の施設の清掃、ゴミ拾い）
・自治会の活動に参加
・地元の文化や産業になっている仕事体験を通して知らないことを知るチャンスや、やったことのないことをやってみる体験の場を作る。人生の目的と目標のちがいを学ぶ講座を開く
・自然環境の大切さや、地域の伝統のお祭りで交流を推進したい。
・ボランティア活動に興味のある中高生にいろいろなボランティアを広報やＳＭＳで紹介してやってもらう
・金島地区の夏祭りには金中の生徒さんが参加して手伝ってくれてますが高校生はなかなか集まるのが無理なのかも
・中高生が活動に参加しやすい様周りの配慮も大切です
・中・高生は､かなり忙しい生活をしているので､学校側からの呼びかけ・協力があると助かる。特に､地域で避難訓練があっても地域役員や年配の方々ばかりなので､部活単位で地域の防災に参加してもらえるとよいと思う。地域にどんな人がいるか見えるし。大人達が何を一生懸命しているか…を知ってもらうだけでもいいと思う。そして学生さん達の考えや意見も知って取り入れていくとよいと思う

２．市の景観について

渋川市は、全国的に有名な伊香保温泉の景観をはじめ、山林や農地など自然環境を活かした景観や白井宿などの歴史を活かした景観、渋川駅を中心とした都市的な景観と多様で魅力のある景観資源が複合した地域となっています。

しかし、住宅地及び郊外での空き地・空き家の増加、太陽光発電設備（太陽光パネル）や屋外広告物の乱立等により、景観を損ねている箇所もあり、良好な景観資源を守るためのルールも必要になっています。

また、渋川市の景観の潜在能力を生かし切れていない側面が多く見られるため、新しい景観を創造することも必要になっています。

このように、多様で良好な景観資源を次世代に継承し、創造するために、市民が渋川市の景観に対してどのように感じているか、将来どのようにしていきたいかなどの意向を調査するために実施するものです。

問８　好きな渋川市の景観はどれですか。あてはまるものを３つ選んでください。

①赤城山・子持山などの景観（31 人・73.8%）
②利根川・吾妻川などの水辺の景観（16 人・38.1%）
③畑の広がる農地の景観（３人・7.1%）
④郊外集落地の景観（３人・7.1%）
⑤渋川駅周辺などの商業地の景観（４人・9.5%）
⑥四ッ角周辺の市街地の景観（４人・9.5%）
⑦市街地内の住宅地の景観（１人・2.4%）
⑧伊香保温泉の観光地の景観（24 人・57.1%）
⑨白井宿等歴史的、文化的な景観（11 人・26.2%）
⑩公園・緑地等の景観（３人・7.1%）
⑪鉄道沿線の景観（３人・7.1%）
⑫国道 17 号沿道の工業団地の景観（３人・7.1%）
⑬幹線道路沿いの沿道商業地の景観（０人・0%）
⑭市全体としての景観のよさ（２人・4.8%）
⑮その他（１人・2.4%）

＜その他意見＞

・榛名山　小野子山の景観

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	未回答	合計
20歳代(3)	2				1		1	1				2					7
30歳代(10)	5	3			1	2		6	3		1			1			22
40歳代(8)	5	2	1	1	1	1		6	1	1		1					20
50歳代(7)	7	5	2					4	1	1					1		21
60歳代(6)	6	2		1				5	3		1						18
70歳代(7)	5	3			1	1		2	3	1	1			1			18
80歳代(1)	1	1		1													3
合計(42)	31	16	3	3	4	4	1	24	11	3	3	3	0	2	1	0	

※最も多かったのは「①赤城山・子持山などの景観」で、全年代から高い支持を集めた。次いで「⑧伊香保温泉の観光地の景観」、「②利根川・吾妻川などの水辺の景観」が続き、自然や観光資源に関する景観が上位を占め、好まれる傾向にあることがわかった

問９　渋川市内の景観で未来に残したいと思う景観はどこですか。具体的な場所や風景をご自由に記載してください。

＜簡易抜粋＞

・伊香保温泉石段街
・渋川総合公園付近の森の雰囲気が好きです
・赤城町津久田の福増寺
・小野上の棚田
・四ツ角及び商業地区
・市街地に点在する歴史的な価値ある建物群
・榛名山、子持山、赤城山麓の山並みなど
・商工会議所
・白井宿、八重桜
・山や川の自然豊かな景観。赤城町から観える風景が考慮されて無いのはあり得ない。そもそも市街地に魅力を感じない
・子持山等のルートを整備、山頂の風景は渋川市が一望できる
・利根川などの川の周辺
・白井宿、利根川沿いの自転車ロード、緑地公園、行幸田蕎麦畑など都内からの観光や体験で都会と異なる渋川市の魅力を発信してはどうでしょう
・雙林寺　中郷の寺　広々としている。趣があるお寺
・利根川遊歩道（渋川ガスから吾妻川公園入口）
・水沢寺周辺
・駄菓子屋や商店など子供達が気軽に買い物できる所
・国道３５３号沿いの市内から中之条方面で見える田園風景

問 10　渋川市の良好な景観づくりに向けて、どのようなことが大切だと思いますか。あてはまるものを３つ選んでください。

①赤城山裾野や利根川などの自然の景観を現在の姿のままで保存する（19人・45.2%）
②主要な道路沿道の整備や、沿道の看板などのルールを設定する（９人・21.4%）
③後背地に広がる自然だけではなく、市街地等にも緑豊かなゆとりのある景観づくりを進める（５人・11.9%）
④白井宿などの歴史的､文化的な風景を保存または整備する(20 人･47.6%)
⑤空き地や空き家などを管理しながら、街並みを保全または整備する（16人・38.1%）
⑥農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全または整備する（４人・9.5%）
⑦公園・緑地などのうるおいのある風景を整備・保全する（５人・11.9%）
⑧渋川駅周辺などの街中でにぎわいのある市街地を整備する（７人・16.7%）
⑨伊香保温泉や道の駅などの観光拠点を中心とした整備を進める（20 人・47.6%）
⑩工業団地などでは建物などを建てる際、周囲の景観へ配慮する（１人・2.4%）
⑪特に優れた景色を見ることができる場所については、景色が見られる空間整備を行う（11 人・26.2%）
⑫その他（３人・7.1%）

＜その他意見＞

・もっと深く全国の先進事例を研究してより良い整備を目指す
・頑張ってやっていると思います
・渋川駅から伊香保までの路面電車の整備

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	未回答	合計
20歳代(3)	2	1		1			1	1	1		1			8
30歳代(10)	3	2	2	5	3	1	2	3	5		3			29
40歳代(8)	2	3	1	2	4		1	2	4		1	1		21
50歳代(7)	5	2	1	2	3	2			3	1	1	1		21
60歳代(6)	3		1	6	1	1			3		3			18
70歳代(7)	3	1		4	4		1	1	3		2	1		20
80歳代(1)	1				1				1					3
合計(42)	19	9	5	20	16	4	5	7	20	1	11	3	0	

※最多は「④白井宿などの歴史的、文化的な風景を保存または整備する」と「⑨伊香保温泉や道の駅などの観光拠点を中心とした整備を進める」で、自然や文化を活かした観光資源への関心が高い。「①赤城山裾野や利根川などの自然の景観を現在の姿のままで保存する」や「⑤空き地や空き家などを管理しながら、街並みを保全または整備する」も支持が多く、環境保全と景観維持の両面が重視されている。一方、「②主要な道路沿道の整備や、沿道の看板などのルールを設定する」や「⑪特に優れた景色を見ることができる場所については、景色が見られる空間整備を行う」は中程度、「⑩工業団地などでは建物などを建てる際、周囲の景観へ配慮する」や「⑥農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全または整備する」は、少数にとどまった。全体として、「観光・歴史文化資源の活用」と「自然・環境保全」の両立が市民の重要視する景観づくりの傾向となっている

問 11　景観の良さを損ねていると感じる項目はどれですか。あてはまるものを３つ選んでください。

①樹木の伐採により山肌が見える山並み（３人・7.3%）
②山頂などに突き出たアンテナや鉄塔（１人・2.4%）
③汚れた川や水面（10 人・24.4%）
④屋外広告物や案内標識（４人・9.8%）
⑤色やデザインに統一感のない街並み（８人・19.5%）
⑥電柱や電線類（７人・17.1%）
⑦放置された自転車や自動車（２人・4.9%）
⑧道路や橋などの土木構造物（０人・0%）
⑨ごみの不法投棄や廃棄物等の野積み（20 人・48.8%）
⑩空き地や空き家などの増加（22 人・53.7%）
⑪耕作されずに荒れ果てた農地（15 人・36.6%）
⑫開発行為に伴う残土置場や資材置場（５人・12.2%）
⑬太陽光発電設備（太陽光パネル）の乱立（18 人・43.9%）
⑭その他（１人・2.4%）
※未回答（１人）

＜その他意見＞

・川底未整備の一級河川

年齢別回答状況　　単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	未回答	合計
20歳代(3)					1	1			2	2			3			9
30歳代(10)			3	1	2	1	1		6	5	3	2	3		1	28
40歳代(8)	1		2	1	2	2			2	2	3		5			20
50歳代(7)	1	1	4	1	1				3	3	1	2	3			20
60歳代(6)	1		1	1	1	1	1		3	4	2		2			17
70歳代(7)					1	2			3	5	5	1	2	1		20
80歳代(1)									1	1	1					3
合計(42)	3	1	10	4	8	7	2	0	20	22	15	5	18	1	1	

※最多は「⑩空き地や空き家などの増加」で、次いで「⑨ごみの不法投棄や廃棄物等の野積み」、「⑬太陽光発電設備（太陽光パネル）の乱立」、「⑪耕作されずに荒れ果てた農地」が続き、生活環境の荒廃や土地利用の乱れに対する懸念が強い。「③汚れた川や水面」や「⑤色やデザインに統一感のない街並み」、「⑥電柱や電線類」は中程度の関心。「①樹木の伐採により山肌が見える山並み」、「②山頂などに突き出たアンテナや鉄塔」、「⑧道路や橋などの土木構造物」などは比較的少数意見だった。全体として、生活環境の管理不足や乱雑さが景観の良さを損ねる要因として強く意識されていることが分かる

問 12　不満に思っている景観や改善したほうが良いと思う景観はありますか。
具体的な場所や風景をご自由に記載してください。

＜簡易抜粋＞

・駅がもう少し都会的になると良い
・伊香保温泉石段街等で目立つ空き店舗、空き家の改修、利用
・渋川市御蔭付近の、不自然な太陽光パネルの乱立は気になります。太陽光は、何年か後の破棄のことも鑑みると拡大には賛成できません
・道路、防火用水等を覆う 雑草
・渋川市金井のかない苑の前の竹林
・空き家がそのままの状態で放置されるケースが増えていること、市街地の特に四ツ角・辰巳町商店街の建物の統一性の無さや清潔感並びに埋まらない商業ビルや空き地、散見される休耕地等
・街中の空き家。所有者不在や相続問題などがあるのはわかるが、特に旧市街地の過疎に伴う空き家問題（移住による助成金などもあるが、そもそも旧市街地に家を建てられる、購入可能な土地自体が不足しているように思う)。
・四ツ角周辺の空き地
・渋川 IC 付近のあじさい
・北橘町のふれあい公園からトマル八崎デリバリーセンターまでの道は、雪が降ると竹が倒れてきて道路を塞ぎ危険です。普段も竹が伸びすぎていてサージタンクの景観を損ねていると思います
・渋川駅前の白いタイルの広場（照返しがすごい)
・関越、17 号沿いの、ゴミの問題
・子持の黒井峯遺跡が長い間、ただの草原で活用されていない。歴史公園として早急に整備すべきです
・伊香保から榛名山へのアクセス道路途中に山々を展望出来る箇所がありますが、茂った木々に遮られ遠方が見えませんでした。現地調査と改善を望みます
・山のハイキングで整備がされていない(表示・道)等
・観光地に設置されているポップな看板やオブジェ、顔出しパネル(簡易的な撮影スポット)などが景観から浮いていてダサいと感じることがある
・白井宿の桜の名札徹底
・赤城町北上野から深山に抜ける道沿いにゴミ(不法投棄？)が山積みになっている場所があり、気になっている
・伊香保街道(市民会館周辺)が、廃れているイメージがあります。観光地へ向かう大通りでありますが、元かずのや、元家族葬が出来る建物など、廃墟のような大きい建物が目立ちます。グリーン牧場周辺の伐採もあまり良いイメージがありません。サージタンクも、桜が綺麗な場所でもあるので、もう少しふもとを整備したら見た目が良くなると思います

問 13　景観づくりを進めるためのルールとして、どのようなルールが必要だと思いますか。あてはまるものを３つまで選んでください。

①屋外広告物（看板など）の大きさや設置位置などに関するルール（11 人・27.5%）
②建築物や工作物などの色に関するルール（５人・12.5%）
③建築物の高さや大きさなどに関するルール（１人・2.5%）
④残土置場や資材置場に関するルール（16 人・40%）
⑤山並みを乱さないために鉄塔の立地や木の伐採を抑制するためのルール（６人・15%）
⑥建築物や工作物の周辺における緑化を保全するためのルール（４人・10%）
⑦農地の風景を守るためのルール（８人・20%）
⑧空き家や空き地を管理するためのルール（24 人・60%）
⑨太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関するルール（26 人・65%）
⑩その他のルール（１人・2.5%）
⑪ルールは特に必要ない（２人・5%）
※未回答（２人）

＜その他意見＞

・山への不法投棄に関するルール

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	未回答	合計
20歳代(3)	1							2	3				6
30歳代(10)	3	1		4	2		1	3	3		1	1	19
40歳代(8)	2	2		4	2	1	2	4	5		1		23
50歳代(7)	3			4	1	2	1	4	5				20
60歳代(6)	2	1	1	1		1	1	4	4	1			16
70歳代(7)		1		3			3	6	5				18
80歳代(1)					1			1	1				3
合計(42)	11	5	1	16	6	4	8	24	26	1	2	1	

※最多は「⑨太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関するルール」で、特に 40～70 代で支持が高かった。次いで「⑧空き家や空き地を管理するためのルール」、「④残土置場や資材置場に関するルール」が続き、土地利用や施設管理に関する規制が上位を占めている。「③建築物の高さや大きさなどに関するルール」や「⑩その他」、「⑪ルールは特に必要ない」は少数派だった。自然景観や生活環境を損なう要因の抑制と、放置されがちな土地・施設の管理強化を求める傾向が見られる

問 14　屋外の大きな看板や使い捨て看板について、渋川市では群馬県条例に基づき一定の制限（設置場所、看板の高さ、表示面積、表示方法等）がされていますが、どのように考えますか。あてはまるものを１つ選んでください。

①看板類は規制すべきでない（２人・4.9%）
②現行のままでよいが、県条例の規制について周知し、徹底すべき（21 人・51.2%）
③渋川市独自の条例を定め、実情にあったきめ細かい規制を行うべき（18 人・43.9%）
④その他（０人・0%）
※未回答（１人）

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)		2	1			3
30歳代(10)	1	7	1		1	10
40歳代(8)	1	2	5			8
50歳代(7)		6	1			7
60歳代(6)		2	4			6
70歳代(7)		2	5			7
80歳代(1)			1			1
合計(42)	2	21	18	0	1	42

※最多は「②現行のままでよいが、県条例の規制について周知し、徹底すべき」で、特に 30・50 代で多く選ばれた。「③渋川市独自の条例を定め、実情にあったきめ細かい規制を行うべき」の意見も 18 人と多く、現行制度の周知・改善を望む声が全体の 9 割以上を占めた。一方、「①看板類は規制すべきでない」はわずか 2 人にとどまり、看板類の規制そのものへの反対はほぼ見られなかった。全体として、規制の方向性には賛同しつつ、周知強化や地域事情に合わせた柔軟な対応を求める傾向があると言える

問 15　太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関して、渋川市条例に基づき一定の制限（設置場所、設置面積等）がありますが、どのように考えますか。あてはまるものを１つ選んでください。

①クリーンエネルギーを推進するため、規制すべきでない（１人・2.5%）
②現行のままでよいが、渋川市の条例の規制について周知し、徹底すべき（16 人・40%）
③現行の渋川市の条例より、さらに実情にあったきめ細かい規制を行うべき（18 人・45%）
④その他（２人・5%）
※未回答（２人）

＜その他意見＞

・土地にただ太陽光パネルだけを設置するのではなく、屋根の上など上手く活用するようにする
・基本的にはいいが、鉄骨架台で建築基準法を逃れるのはなんとかしてほしい。税収減でもあるし、何より風の強い群馬では本当に危ない。ちゃんと基礎を打って固定してくれれば問題ない
・一定の制限を知らない
・山並の景観と自然防災効果
・周辺の草木の手入れ
・数年後の壊れた時の処理
・条例を今理解していないので何とも言えない

年齢別回答状況　　単位:人

()は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)		1	1	1		3
30歳代(10)	1	5	1	2	1	10
40歳代(8)		4	4			8
50歳代(7)		2	4	1		7
60歳代(6)		1	5			6
70歳代(7)		3	3		1	7
80歳代(1)				1		1
合計(42)	1	16	18	5	2	42

※「③現行の渋川市の条例より、さらに実情にあったきめ細かい規制を行うべき」の意見が 18 人と最多で、特に 40～60 代で多かった。「②現行のままでよいが、渋川市の条例の規制について周知し、徹底すべき」は 16 人で、規制の必要性を前提に改善を求める声が全体の 8 割程度を占める。一方、「①クリーンエネルギーを推進するため、規制すべきでない」は１人にとどまり、「④その他」では、屋根活用や安全対策、維持管理、廃棄時処理、景観・防災面への配慮など、具体的な条件や懸念が挙げられた。全体として、規制そのものには賛同しつつ、安全性・景観・管理面を考慮したより細やかな対応を求める傾向があると言える

問 16　今後の景観づくりについて「特に重点的な取組みが必要な場所」と思われるのはどこですか。具体的な場所や風景を、ご自由に記載してください。

＜簡易抜粋＞

・伊香保温泉石段街
・思いつく限りありません
・八木原駅周辺
・インター降りて伊香保へ向かう 17 号にあったアナベルがなくなり、華やかさや季節感が、失われ、渋川という印象が薄くなったので、かわりの何かの華やかさが欲しいと思います
・渋川市の顔は渋川駅だと思うので現在、整備中ですが、綺麗で印象的で旅人に訪れて良かったと思ってもらえる渋川駅であって欲しいと思います
・アルテナードや平沢川沿いの道路脇景観の整備、農山村部の空き家や休耕地
・旧市街地の空き家
・太陽光パネルの乱立
・渋川四ツ角周辺
・白井宿。もっと空き家を活用して街並みを整えてもよさそう
・観光地周辺に関してその中心地に向うまでのワクワク感や、ふんい気などの統一的演出をしてほしい
・伊香保温泉の看板の規制や統一感
・赤城インターの周辺
・白井宿や旧家など、白川郷のように整備し景観維持をスポット的見方から広範な地域として取組みしたらどうでしょう、アジサイ公園、蕎麦畑、秋桜畑、油菜畑なども広ければ充分な景観として成立つのではないでしょうか
・市内のあちこちに山への投棄ごみや放置車がそのままになっている。こういう一つ一つを処理することが渋川の景観向上につながっていくのではないかと思う（例　渋川社協の駐車場に放置された車一台が何年も置かれたままになっている。見苦しいし一台分の車が停められない）
・渋川駅前、市役所通り
・駅前のロータリーがのっぺりしていて面白く無さそうな印象なので、足湯を作って下さい
・暗い様な場所には街灯を設置して夜、学生が安全に帰宅出来るようにする
・市内周辺の小野上、赤城、子持、北橘地区の農業を保護し、今ある農村風景をこれからも残すような取り組みをお願いしたい
・ソーラーパネルについて、現状では乱立とまではいかないものの大きな存在感を放っている。そもそも太陽光発電がクリーンエネルギーを生むといえど、建設のために山を切り拓いては元も子もないのではないか。そんな不信感もあり、ソーラーパネルについて嫌悪感すら覚える。既に建設されたものは活用するとして、今後新たな開発がなされる場合、自然を代償にするようなことがあってほしくはない